



保護者の皆さんへ感謝

長い間、学校は、地域や保護者の方が行きたくても敷居が高くて近寄り難い所、学校や先生に対して協力したくても協力しにくい所、注文を付けたくても注文が付けにくい所と言われてきました。こうした課題を解決するために10数年前から「閉ざされた学校」から「開かれた学校」へと叫ばれてきました。

文科省の指導の下、学校は、地域や保護者との連携を深め、学校が地域のセンターとなるように全国各地で、学校運営協議会、所謂、コミュニティー・スクールと呼ばれる組織が立ち上げられました。

市区町村によっては、学校運営協議会は、学校の人事にも介入できるようになっていますが、通常は、定期的に会合を重ね、校（園）長の学校運営に対して、評価をしたり、意見を述べたりして、地域全体で学校運営に関わることができる組織となっています。つまり、学校は、施設開放だけではなく、教職員の人材や教育課程を地域に開くこととなっています。そして、「子どもは地域の宝」と言われるように、学校だけではなく、保護者や地域全体で地域の子どもの見守り育てていこうという運動に発展しています。

学校によっては、保護者や地域との連携が進み、運営が円滑に進んでいます。本園では、学校運営協議会や第三者委員会等の組織はまだできていませんが、それに代わる組織として、保護者会（主にお母様方）があり、らいおん組があります。毎月の活動や夏祭りなどの保護者会の活動は、お母様方がリーダーシップをとって企画運営されます。また、以前から、お父様の会が幸いにしてありましたので、再組織化するのには大変好都合でした。2年前に、「らいおん組」と名称を決め、そして、各学年のリーダーを決め、計画的・機能的に活動ができるようになりました。

こうしてみますと、現在、有り難いことに、園と保護者の皆様との連携がうまく取れていると思っています。保護者の皆様が、子どもたちのためにいろいろな計画を立て、活動してくださいますので、園としても活動計画に幅を持たせることができます。

このように、園では保護者の皆様の協力なしでは、幼稚園運営が成り立たないと言っても過言ではないかもしれません。

保護者の皆様の多大なるご協力に感謝せずにはおられません。（多謝）



お母様方によるピカピカ大作戦

11月7日（月）に、園庭、園周辺、坂道等の掃除に、30名近いお母様方が参加して下さり、幼稚園が大変美しくなりました。いつも、多くのお母様方から、坂道掃除の手伝いをしたいとの声があがっていましたが、初めての作戦を試みましたが予想以上の方が参加されました。園には、桜やカエデなど四季に応じた樹木があり、子どもたちの目を楽しませてくれる反面、その後の処理が大変です。

この季節、掃いても掃いても落ち葉が絶えません。参加された方は、園庭の隅から隅まで、坂道の壁の草取りなどの活動をしていただきました。「始めたら、あそこも、ここも気になり、やめられない気持ちになる」との声も聞かれました。

次回は参加しようと声を掛けてくださった方もたくさんおられますが、決して無理をされないようお願いいたします。基本は、「できる時に、できる人」が、ご参加いただければ幸いです。



お父様方による平均台作り

12日に、今年度の大イベントである平均台作りを響流の森で行いました。当初は、数か所に配置する平均台作りでしたが、話し合いを重ねるたびに、線から面へと拡がり、アスレチック型の平均台作りになりました。綿密な設計図を基に、予想通りの素晴らしい平均台ができました。傾斜を利用して作成されていますので、年少さんから年長さんまで、難易に応じた遊びが楽しめるのではないかと期待しています。それにしても、建築、土木、測量、ロープ操作など、いろいろな特技をお持ちのお父様方がおられるものだと感心しました。次回の活動は卒園式や入園式を飾るための花の植え替え作業を26日に行う予定です。

